

(別添2)

事業評価の結果 (内容評価項目)

福祉サービス種別 保育所  
事業所名 佐久市立中込第一保育園

【第三者評価の判断基準】

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。

「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態  
 「b」評価・・・aに至らない状況=多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態  
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 保育内容	(1) 保育課程の編成	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1 保育課程は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。</li> <li>■ 2 保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。</li> <li>■ 3 保育課程は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。</li> <li>■ 4 保育課程は、保育に関わる職員が参画して編成している。</li> <li>■ 5 保育課程は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。</li> </ul>	<p>○佐久市の保育理念に基づいた上で本園を取り巻く状況や子どもの姿を踏まえた保育課程が作成されています。</p> <p>○保育課程を保育計画に生かし、どの保育士も1年を通して偏りのない保育を目指せるよう月案から週日案、個別指導案にと一貫性をもってつながっています。</p> <p>○活動が細切れにならないよう常に保育目標に立ち返るための園内研修が定期的に行われており、評価・反省を生かしながら保育を進めています。</p>
		(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 6 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を、常に適切な状態に保持している。</li> <li>■ 7 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。</li> <li>□ 8 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。</li> <li>□ 9 内装等には、木材を利用している。</li> <li>□ 10 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。</li> <li>■ 11 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。</li> <li>■ 12 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。</li> </ul>	<p>○園舎の老朽化や異常気象など職員の力が及ばない問題もあるが、その中で園舎内外を清潔で安全に過ごせる場として整えており、子どもたちは保育士と一緒にくつろいだ雰囲気です。</p> <p>○保育室の構造上（壁面積が少ないなど）難しいかもしれないが、どの子にとっても集中しやすい環境となるよう、制作物の展示方法の工夫等も期待します。</p> <p>・壁面に余白部分を取り入れる。                  ・話をする保育士の背景は視野に入るものを極力減らす等。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 13 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。</li> <li>■ 14 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。</li> <li>■ 15 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。</li> <li>■ 16 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。</li> <li>■ 17 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。</li> <li>□ 18 せかず言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。</li> </ul>	<p>○子どもの発達の状況や個人差を職員全員が共有し担当する子どもだけではなく園全体で一人ひとりの子どもを受容していることがうかがえます。</p> <p>○子どもへの言葉がけは、遠くからではなく、常に子どもの近くに寄り添いながら丁寧で的確な援助があります。</p> <p>○子どもへの理解などもっと学びたいという職員の声も聞かれました。保育はこれでよし、ということはないので、更なる高みを目指して欲しいです。</p>
			③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 19 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。</li> <li>■ 20 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。</li> <li>■ 21 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。</li> <li>■ 22 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。</li> <li>■ 23 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。</li> </ul>	<p>○一人ひとりの発達過程、個人差に配慮しながら家庭との連携を密にして、どの子も「自分でやってみよう」という意欲が育つよう必要な援助をしています。</p> <p>○生きる力の源となる基本的な生活習慣の育成を目的とした保育計画が作成され、養護と教育を一体化させながら経験を積んでいく保育が実践されています。</p> <p>・遊びを楽しみながら着脱の習慣を身につけたり楽しい雰囲気の中で清潔習慣を習得させていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 24 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。</li> <li>■ 25 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。</li> <li>■ 26 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。</li> <li>■ 27 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。</li> <li>■ 28 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。</li> <li>■ 29 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。</li> <li>■ 30 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。</li> <li>■ 31 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。</li> <li>■ 32 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。</li> <li>■ 33 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。</li> </ul>	<p>○県創設の信州型自然保育認定制度（やまほいく）に認定され、自然体験保育を実践している。年間を見通した立案により、戸外保育で収穫した自然物をその後の保育にいかす（制作活動など）取り組みもあり活動に一貫性がありました。</p> <p>○戸外活動の際は事前に危険個所の確認をするなど安全に遊びができるような配慮が認められます。</p> <p>○自然の中でのびのびと活動することにより、園内ではできない様々な体験を通して、困難を乗り越えようとする気持ちや友だちと協力しようとする心が育っています。</p> <p>○散歩や行事を通して地域の方、高齢者、専門分野の指導者（サッカー教室など）等と出会い、親しみを持ったりマナーや社会生活のルールを知るなど様々な体験ができています。</p>
			⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 34 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。</li> <li>□ 35 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係（情緒の安定）が持てるよう配慮している。</li> <li>■ 36 子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。</li> <li>□ 37 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。</li> <li>■ 38 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。</li> <li>■ 39 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。</li> </ul>	<p>○発達が著しく個人差も大きい乳児期の保育にあたり、食事や睡眠等の基本的な生活リズムを整えながら、言語や運動機能の発達を促すような環境を作っています。</p> <p>○感染などへの抵抗力が弱い乳児の特性を理解し室内の換気や除菌、オムツ交換後の処理など衛生面において細心の注意がみられます。</p> <p>○保護者との連絡ノートや送迎時のやり取りから健康状態の把握やその日の心身の状態、またできるようになったことを共に喜び合うなど保護者との連携が密にできています。</p> <p>○保育士同士の連携は落ち度なくできているが、愛着心を育む時期であることから特定の保育士による保育体制が検討されることも期待します。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 40 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。 <input type="checkbox"/> 41 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 42 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 43 子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 44 保育士等が、友だちとの関わりの仲立ちをしている。 <input type="checkbox"/> 45 様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 46 一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。	<p>○歩行の開始や言語の獲得、自他の区別がつき始めるなど心身の発達が著しい1・2歳の時期に、やりたい気持ちに丁寧に向き合った待つ保育の実践や「できた！」という思いに共感する保育士の温かい援助がみられます。</p> <p>○自我の芽生えを適切に捉え職員間で発達過程の理解を深める検討会を行い適切な対応をしています。</p> <p>○探索活動が十分に行える環境を整備する努力がみられました。園舎の構造などから安全面の保証などを考慮し、さらに探索活動を盛んに行えることを期待します。</p> <p>○指先の発達などを踏まえて手作りおもちゃなどを定期的に更新することも期待します。</p>
			⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 47 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 48 4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 49 5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input type="checkbox"/> 50 子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。	<p>○乳児期からの発達の過程を尊重し、家庭環境や個人差に配慮していました。</p> <p>・一人ひとりの情緒の安定を図りながら自我の育ちを支えていました。</p> <p>・発達の特徴を踏まえて個の成長と集団としての活動の充実を図れるよう保育士が場面に応じた関わりをしていました。</p> <p>○戸外活動や活動が十分に行われているので、保護者や地域への発信をより充実させる工夫も期待します。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	<input type="checkbox"/> 51 建物・設備など、障がいに応じた環境整備に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 52 障がいのある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 53 計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 54 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 55 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 56 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 57 職員は、障がいのある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。 <input type="checkbox"/> 58 保育所の保護者に、障がいのある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。	<p>○個別の指導計画が作成され配慮が必要な子どもへの適切な対応が行われていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加配保育士の配置</li> <li>・職員間での情報共有と対応の一貫性等。</li> </ul> <p>○保護者との連携を密にし、医療機関の医師の助言を共有し実践しています。</p> <p>○園全体の保護者への情報提供は当該保護者の気持ちに配慮しながら慎重に対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者は子供にとって苦手なことへの適切な配慮があり園への信頼が伺えました。(アンケートより)</li> </ul> <p>○気持ちのコントロールや切り替えのための居場所が更に整備されることを期待します。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	<input type="checkbox"/> 59 1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。 <input type="checkbox"/> 60 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 61 子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 62 年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 63 保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 64 子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 65 担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。	<p>○長時間にわたる保育を利用する子どもが増え、子どもが過ごす環境に配慮が必要であるが、職員会等で状況の確認をきめ細かく行い、ゆったりと過ごせるよう工夫がみられます。</p> <p>○早朝から夕方まで担当保育士が変わるが保育士間で落ち度なく引継ぎが行われています。            ・言葉による連絡            ・専用ノートによる確認等</p> <p>○長時間保育の保育内容についてより充実した計画が望まれます。</p>
			⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b)	<input type="checkbox"/> 66 計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 67 子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。 <input checked="" type="checkbox"/> 68 保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。 <input checked="" type="checkbox"/> 69 保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 70 施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。	<p>○地元小学校との交流が積極的に行われ子どもの不安な部分を理解し小学校への期待が持てるよう交流の機会を生かしていました。            ・小学校の登下校の安全を意識づけています。            ・小学校の雰囲気を感じあわせている。            ・小学校での生活に関心が持てるよう定期的な交流がある。            ・必要に応じて保護者とも小学校訪問を行っている等。</p> <p>○入学までに育ってほしい姿や入学当初の生活を明文化した計画の情報交換を期待します。(小学校教員とのアプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの確認)</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
		(3) 健康管理	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 71 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。</li> <li>■ 72 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。</li> <li>■ 73 子どもの保健に関する計画を作成している。</li> <li>■ 74 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。</li> <li>■ 75 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。</li> <li>■ 76 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。</li> <li>□ 77 職員に乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。</li> <li>□ 78 保護者に対し、乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する必要な情報提供をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの健康状態や発達・発育状態について職員間で確認し、常に把握をしています。</li> <li>○保護者との連携を密にし、安全に集団生活が過ごせる配慮をしています。</li> <li>○必要に応じて専門機関との連携の仲立ちをしています。</li> <li>○入園案内や保護者会総会などの場で園の安全対策について知らせているが、折に触れてSIDSへの研修参加や情報の提供を行うことを期待します。</li> </ul>
			② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 79 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。</li> <li>■ 80 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。</li> <li>■ 81 家庭での生活に生かされ保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種検診が計画に基づき実施されています。</li> <li>○佐久市全体の取組として年長児のフッ素による虫歯予防に努めています。</li> </ul>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 82 アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。</li> <li>■ 83 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。</li> <li>■ 84 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。</li> <li>■ 85 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。</li> <li>■ 86 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。</li> <li>■ 87 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。</li> </ul>	<p>○アレルギーの対応マニュアルが作成され全職員に周知徹底されていました。職員はそれぞれの役割を分担し組織的に対応が行われていました。</p> <p>○調理員との連携、確認が確実に行われる仕組みがあります。</p> <p>○調理室の中でも調理開始前、また途中など必要に応じて何回も確認する作業手順が組まれています。</p>
		(4) 食事	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 88 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。</li> <li>■ 89 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。</li> <li>■ 90 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。</li> <li>■ 91 食器の材質や形などに配慮している。</li> <li>■ 92 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。</li> <li>■ 93 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。</li> <li>■ 94 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。</li> <li>■ 95 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。</li> </ul>	<p>○楽しい雰囲気の中、食欲旺盛に食べる姿が見られました。</p> <p>○食育計画が作成され、調理員も含めた全職員で取り組んでいました。</p> <p>○「やまほいく」の実施もあり体を十分に動かしておなかをすかせ、おいしくいただく、という流れが保育計画の中でも位置付けられています。</p> <p>○食器の大きさや重さについて更に検討したいという調理員の意欲的な考えも聞くことができました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b)	<input type="checkbox"/> 96 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 97 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 98 食事の内容は、県産の農畜産物等を利用したものとしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 99 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。 <input checked="" type="checkbox"/> 100 季節感のある献立となるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 101 地域の食文化や行事食などを取り入れている。 <input type="checkbox"/> 102 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 103 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。	<p>○一人ひとり、その子が食べられる量や体調、好き嫌いを把握し盛り付け量を配慮したりお代わりもできるようにしています。</p> <p>○食材はできる限り地元産を使い季節感のある食事の提供に努めていました。また、園で育てた野菜も提供し、購入野菜と切り方を変えるなど子どもにわかりやすく親しみやすい提供をしています。</p> <p>○衛生管理マニュアルに基づき安全で安心な食事の提供に努めています。</p> <p>○調理員間の連携がよく、時間内の提供、味付け、事故防止が徹底管理されています。</p> <p>○調理員と園児との温かい交流を知ることができました。日常的に調理員もクラスに入り子どもと一緒に食事をする機会を増やせるよう時間のやりくり工夫も期待します。</p>
	2 子 育 て 支 援	(1) 家庭との緊密な連携	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 104 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 105 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 106 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 107 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	<p>○月々の園だよりや掲示板、日々の連絡ノートなどを用いて活動を知らせていました。保護者の要望も取り入れることができるよう園長・主任を中心に検討を重ねています。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
		(2) 保護者等の支援	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 108 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。</li> <li>■ 109 保護者等からの相談に応じる体制がある。</li> <li>□ 110 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。</li> <li>■ 111 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。</li> <li>■ 112 相談内容を適切に記録している。</li> <li>□ 113 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。</li> </ul>	<p>○保護者からの相談や要求には丁寧に応じ、常に全職員で情報を共有しています。</p> <p>○特に要望についてはその場で答えられることと園に持ち帰る事案を分け、丁寧に対応していました。</p> <p>○送迎時の会話や連絡ノートの活用により保護者が相談しやすく保護者からの信頼も大きいことを確認しました。</p> <p>○家庭の状況を把握し子育て支援の一つとして家庭の養育力も引き出すよう心掛けています。</p> <p>○保護者の要望の中には土曜日の保育という急なお願いもあるが、食材などできる限りの対応を準備し「園長に確認してから」ではなく即答できる件として位置づけられることを期待します。</p>
			② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 114 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。</li> <li>■ 115 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。</li> <li>■ 116 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。</li> <li>■ 117 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。</li> <li>■ 118 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。</li> <li>■ 119 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。</li> <li>■ 120 マニュアルにもとづく職員研修を実施している。</li> </ul>	<p>○虐待や不適切な養育態度が疑われる家庭への対応マニュアルがあり、必要に応じて速やかに関係機関と連携する仕組みができていました。</p> <p>・園長を窓口とし常に全職員が情報を共有できるようにするとともに守秘義務にも十分配慮しています。</p> <p>○日ごろから子どもの心身の状態を観察したり保護者との関りに配慮しています。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
	3 保 育 の 質 の 向 上	(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 121 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 122 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 123 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 124 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 125 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。</li> <li><input type="checkbox"/> 126 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。</li> </ul>	<p>○日々の保育の反省、定期的な毎月の反省など職員会や園内研修を通じて主体的に振り返りができています。</p> <p>○自己評価の際には他の職員の評価に耳を傾けるなどして広い視野をもとうとしています。</p> <p>○自己評価や指導案の評価・反省を生かし、保育の質の向上に向けた組織的な取組が更に充実することを期待します。</p>